

令和7年度第1回南相馬市小高区地域協議会 会議録

1 日 時：令和7年4月17日（木）

午後3時55分～午後4時55分

2 場 所：原町生涯学習センター

会議室

【出席委員 12名】

会 長 阿 部 貞 康
副会長 志賀 由紀夫
委 員 末 永 義 人
委 員 杉 重 典
委 員 半谷 恵美子
委 員 熊田 めぐみ

委 員 菅 原 紀 子
委 員 末 芳 治
委 員 飯 塚 宏
委 員 半谷 善弘
委 員 本 田 博 信
委 員 西 山 喜代子

【欠席委員 2名】

委 員 小 林 友 子

委 員 山 本 麻 子

●南相馬市職員

小高区役所長
小高区市民総合サービス課長
小高区地域振興課長
小高区地域振興課活性化担当係長
小高区地域振興課主査（書記）

佐 藤 克 巳
渡 辺 和 宣
高 野 真 至
安 部 良 一
木 幡 祐 一 朗

1. 開 会

○事務局（高野次長）

只今より令和7年度第1回小高区地域協議会を開会いたします。本日の会議の成立要件につきまして、事務局より報告を申し上げます。

本日の欠席委員は、小林 友子委員、山本 麻子委員です。地域協議会14名中、12名の出席ということで、過半数を超えており、協議書10（2）により、本日の会議は成立しております。初めに、阿部会長からご挨拶をお願いいたします。

2. 会長あいさつ

小高区地域協議会 阿部会長よりあいさつ

3. 議 事

○事務局（高野次長）

議事の進行については、規定により、会長が会議の議長となります。阿部会長、よろしくお願いいたします。

（1）会議録署名人の指名

○阿部会長

それでは、次第により議事を進めてまいります。

まず、会議録署名人の選任についてですが、会議録署名人については、議長選任でよろしいでしょうか。

（異議なしの声）

○阿部会長

それでは、今回の会議録署名人は、飯塚 宏委員、杉 重典委員の2名にお願いします。よろしくお願いいたします。

(2) 協議事項

協議事項 小高区の課題解決に向けた協議について

○阿部会長

次に協議事項に移ります。

令和6年度から協議を進めてきたワークショップではありますが、本日はそれぞれの担当の皆様からご説明いただきたいと思います。本日の進め方について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局(木幡主査)

前回までの協議を振り返り、本日はそれぞれご提案いただいた委員の皆さまから6つの協議内容について発表をお願いしたいと思います。

本日の地域協議会では、発表のみ行っていただき、次回5月の地域協議会で、事業提案を一つに絞り込む予定です。

次回の絞り込みでは、本日の発表を基に事務局で、既存の市の事業での飲み込みや、まちづくり委員会で取り組むことができないか、など多角的な視点で検討のための補助資料を作成し、委員の皆さまにお示しする予定です。

そのため、委員の皆さまには、本日の発表をお一人お一人、どの事業に絞り込むのがよいか考えながら聞いていただくようお願いします。

○阿部会長

ここからの議事進行ですが、私も発表者の一人となっておりますので、変則的ではありますが、事務局の高野次長に進めていただきたいと思います。

○事務局（高野次長）

議長を交代させていただきます。

早速これからそれぞれの委員の皆さまから発表を行っていただきます。
まず、小高区定額タクシーの提案者の西山委員から発表をお願いします。

○西山委員（小高区定額タクシー「みなタク」）

小高区定額タクシーを考えた理由は、一つは震災後から14年経ちましたが、原町、鹿島、小高が分断されている状況が今もあるので、同じように補助を受けられたらと思いご提案いたしました。もう一つ、私はサロンをやっているんですが、サロンの利用者からバスは待ち時間が長いので、原町のように電話をすれば多少高くても、すぐに送り迎えしてもらえ方がいいという意見があり、この事業を提案させていただきました。

事前に事務局に対してジャンボタクシーについて質問させていただきましたが、年間6030人利用されており、1ヶ月の利用者数は450人から600人程度を利用しているということです。

市がまとめた利用者からの声の一覧を見ますと、今後も利用される方は使いたいという声がありました。利用されている方の声も、乗るのが楽しみという前向きな意見が多かったので、私は今回この事業の提案を取り下げさせていただければと思います。

とてもよく使っているという声を聞くと、やっぱりなくさない方がいいと思い、いつまで補助金で続けることができるかはわかりませんが、引き続き使用しつつ、ゆくゆくは3区共通に移動手段の課題は整理できていけばよいと思います。

○事務局（高野次長）

発表ありがとうございます。発表の中で提言のとり下げの話がありましたので、本来なら皆さまからの質問の時間とさせていただく予定でしたが、省略させていただきます。

続きまして志賀委員に小高区草刈り隊のご説明いただきます。

○志賀委員（小高区草刈り隊）

基本は資料のとおりです。要はまちなかが綺麗だなんて思ってもらった方がいいと思い提案させていただきました。南相馬市小高に来られた方から、復興半ば途中でも、きっちりやっているとわれたいです。受注が一番大切で、仕事を受注し、作業員の報酬支払や保険をかけるとなると、単独でやるのでは絶対無理だと感じています。この草刈り隊をまちづくり会社をお願いしようとも思っております。

○志賀委員（おだかまちづくり会社）

まちづくり会社についても一緒に話をさせていただきます。

なぜまちづくり会社を作らなければいけないのか、正直に言います市の第3次総合計画の基本構想で100年のまち作りだとか、住みたい田舎ベストランキングで東北1位になったとか、そんなこと言ってますけど、私は全然実感はないです。

合併した街だから、行政に頼っていてもしょうがないということが一つあります。自分たちのまちは自分たちでつくっていくしかないと思い、提案しました。

関係交流人口を増やしていくしかないと思っていて、小高小学校の校歌にあるようなまちを作りたいと考えています。できれば収益事業にしていきたいです。出資金は市へ1千万円か2千万円の要望ができればと思っております。事務員はできれば市の係長クラスと、起業型地域おこし協力隊や、通常の地域おこし協力隊の方でまかなえればと考えております。自分たちでまちを残していきたいと思えます。

○事務局（高野次長）

志賀委員から2つの提案についてお話いただきました。こちらの事業について皆さまからご質問ありますでしょうか。

○阿部会長

今年度の草刈りはどのようなになる予定でしょうか。

○志賀委員

野馬追い前にまちなかの草刈りを行う予定です。

○本田委員

小高神社の人足ですが、減っているので、騎馬会でも何人かお手伝いできればと思っております。震災前は小高工業高校生にお手伝いいただきましたが、今はボランティアに頼っている現状です。

○佐藤所長

火の祭の草刈りについても、復興組合だけではまかなえない状況にあるため、大富地区にある Clean&Bee 総合企画合同会社等をお願いしている現状です。

○志賀委員

こういった課題が出てきていることから、まちづくり会社の事業で草刈り事業も行っていければと思っております。

○事務局（高野次長）

他に質問等ありますでしょうか。
なければ次に阿部会長から小高区みんなで運動会の説明をお願いいたします。

○阿部会長（小高区みんなで運動会）

ここ何年か小高小学校の運動会を見ております。子どもの数が少なく、競技内容も限られています。昨年は中学生も混ざっていただき多少賑わいがありました。そこで小高区全住民を対象にした運動会を子どもたちと一緒にやってもいいのかなということで考えてみました。

震災前は方部ごとに運動会があったと思います。ただそのときには、実際に実行委員会を組織しても、青年団組織、婦人会組織、消防団組織などが、それぞれ活動していた時期でしたので、実際に事業を行うのもそこまで抵抗がない状況でした。

今、誰がやるかとなると、個々に必要な組織を立ち上げる必要がでてくるかもしれませんが、この事業をきっかけにお子さんがいない家庭も含めて、交流できる機会ができるのではないかとと思われるため、検討してみました。

このまま小高の食文化を伝える交流会について説明させていただきます。

○阿部会長（小高の食文化を伝える交流会）

小高区の子どもたちや移住された方を対象に、商工会女性部や小高区のお母さんたちが、料理教室を開催することで、各世代の交流の場の創出が期待されます。さらに若い人達に小高の伝統料理も継承されると思い提案しました。ここで補足説明は、半谷委員からお願いします。

○半谷 恵美子委員（補足説明）

世代を超えて繋がっていくことができる機会を作れたらいいなという思いがあり、そのツールとして運動会や、お母さんたちからの料理の文化継承というものをきっかけに、色々な繋がりや動きが出てくるといいねという話がグループ内であがりました。

○阿部会長

補足説明ありがとうございます。次の文化・芸能の継承についても私のグループからの提案のため、このまま発表を続けさせていただきます。

○阿部会長（小高区の文化・芸能の継承）

事業内容として相馬流れ山踊りの継承、各行政区に伝わる行事、踊り、神楽等を若い世代へ継承したいと思っております。小高区全体の伝統行事カレンダーの制作を行います。最終的なゴールは、多世代交流の機会や、発表が定期的に行われること、また伝統・文化が小高区民に認知されることであります。

以前小高区では民俗発表会を行っていた経緯があります。また何かきっかけを作りたいと思いグループで提案いたしました。ここでの補足説明は菅原

委員からお願いします。

○菅原委員（補足説明）

今も笠や服、鈴や鐘、浮舟太鼓等備品はありますが、踊り手がいけないという課題があります。みんなが忘れてくるため、一回踊れば思い出すかもしれませんが、なかなか集まる機会もなく、復活させることができない状態でありました。

○事務局（高野次長）

皆さんから質問や意見があればお願いします。

○志賀委員

私も2～3割しか覚えていないです。もう一度振りを入れれば思い出すことがあるかもしれないが厳しい状況です。大熊町の話で恐縮ですが、獅子舞は子どもに継承させておりました。小中学生に指導して継承していくしかないとは思っております。ちなみに、誰か浮舟太鼓を覚えている人はいませんかと、中学校の先生から話がありました。それを継承させたいと話がありました。

○阿部会長

小高小学校で浮舟太鼓をやりたいと話があったので、購入した経緯はありました。おそらく小高小学校に保管されているかと思います。

○末委員

小高区もそれぞれの行政区で神楽の内容等は違うため、どこか代表の行政区で伝承されているものを教えていくしかないと思っております。継承できるものを中心にやっていくしかないと思います。

○末永委員

子どもたち向けに放課後児童クラブがあります。月に2～3回何をやるか悩んでいます。小高の食文化や文化・芸能の伝統関連を行うのもいいかもしれません。

○半谷 恵美子委員

今年のコンテンツを決める際に私も意見を話してまして、伝統・文化の型を見せていただけたらいいかなとも思いました。

○熊田委員

小高の食文化を伝える交流会に関してですが、子ども園は月に1回よく嘸んで食べようというイベントがあります。私は郡山出身なのでそこで鯉料理が出されたりしてました。そういったイベントの際に、郷土料理を出したりできればいいのではないかと思います。

○阿部会長

いいと思います。

○熊田委員

放課後児童クラブでも夏休み期間にお弁当の仕出しがあり、そこに郷土料理をいれられればいいのではないかと思います。文化・芸能についても、小高小は統合されたときに校歌が一緒になりました。こういった経緯があるから、各方部の神楽も一つにすることは可能ではないかと思います。

○志賀委員

小高の校歌の歌詞を改めてみると、山、海、まちの話がでてきてるので、このようなまちづくりができるといいなと思います。

○事務局（高野次長）

続けて進めておりましたが、質問は以上ということでよろしかったでしょうか。皆さま発表ありがとうございました。最後に今後の予定として事務局より説明お願いいたします。

○事務局（木幡主査）

皆様発表ありがとうございました。5月には事業の提案を一つに絞込みたいと思いますので、1か月ご検討の程お願いいたします。また、事業によっては勉強会も開催していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。一つ訂正です。資料17ページの令和7年度協議予定の5月開催予定に

については勉強会と記載されておりますが、事業の絞込みとさせていただきます。

○事務局（高野次長）

本日の協議事項は以上になります。ここからは議長を阿部会長にお願いいたします。

4. その他

①次回の会議開催予定について

○阿部会長

「②次回会議の開催予定について」を事務局より説明をお願いします。

事務局より説明

②その他

○阿部会長

その他、委員の皆様、事務局より何かございませんか。

○阿部会長

なければ、以上をもって、本日の会議を終了いたします。

5. 閉 会

○事務局（高野次長）

阿部会長、ありがとうございました。

以上をもちまして、令和7年度第1回南相馬市小高区地域協議会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

令和7年度第1回小高区地域協議会会議録

小高区地域協議会長 阿部貞康

会議録署名人 飯塚 宏

会議録署名人 杉 重典